

医療圏の DPC データ分析報告： 地域医療の効率と質の向上を目指した取り組み

姉崎久敬¹⁾、藤原彩子¹⁾、廣江葵^{1),2)}、川井享代³⁾、榎林陽一¹⁾

- 1) 神戸大学大学院医学研究科 AI・デジタルヘルス科学分野
- 2) 大阪成蹊大学データサイエンス学部
- 3) 神戸大学大学院科学技術イノベーション研究科

【目的】

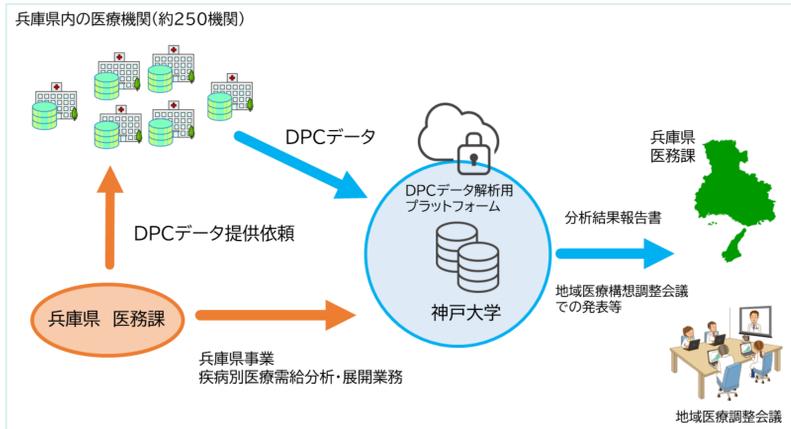
近畿地方の中規模二次医療圏における地域医療の特徴を明らかにし、医療効率の観点から医療圏の課題を検討することを目的として、地域医療の供給状況と質を複数の指標で評価し、包括的な地域医療の評価を行ったので報告する。

【方法】

2019年から2021年にかけて退院した症例を対象とし、近畿地方の中規模二次医療圏に属する 28 施設の入院症例データを分析した。

評価指標として、①医療供給の充足度（完結率、他地域間の患者流入・流出）、②施設機能の分化（診断群類別施設患者数）、③医療の質（平均在院日数、在院死亡率）を使用した。

分析対象疾患は症例数の多い 8 疾患（がん、脳血管疾患、循環器疾患等）とした。



図：事業体制

表：分析データ

各医療機関

令和4年4月～令和5年9月
DPCデータ

- ・ 様式1、様式3、様式4
- ・ 入院及び外来のEファイルFファイル（統合後のファイルでも可）
- ・ Dファイル
- ・ Hファイル

【結果①：医療供給の充足度】

地域内の医療完結率は 80%を超え、地域の医療ニーズに十分対応できていることが確認された。

しかし、全入院症例の 2~3 割程度が他圏域からの流入であり、特に抗がん薬治療症例でも同様の傾向が見られた。

これは、地域間の医療資源の偏在を示唆している。

表：疾患別完結率

病名	入院件数	域内数	完結率
肺の悪性腫瘍	2,152	2,089	97.1%
脳梗塞	1,590	1,490	93.7%
心不全	1,504	1,378	91.6%
その他の感染症	1,380	1,172	84.9%
狭心症、慢性虚血性心疾患	1,360	1,302	95.7%
股関節・大腿近位の骨折	1,161	1,070	92.2%
白内障、水晶体の疾患	1,152	1,080	93.8%
肺炎等	1,112	986	88.7%

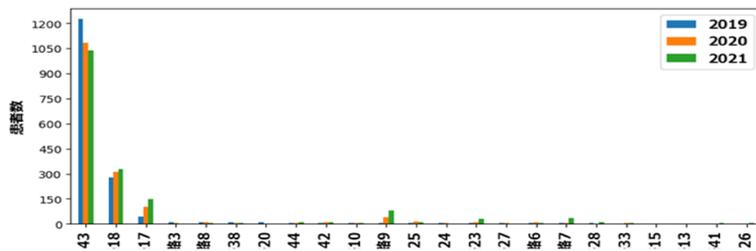
【結果②：施設機能の分化】

肺がんなど一部の症例では、特定の施設に機能が集中している状況が確認された。

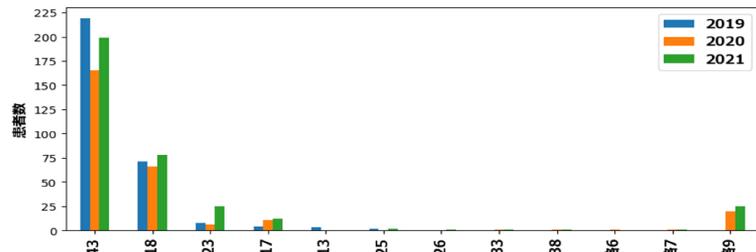
これは、患者の重症度に関わらず一部の施設に症例が過剰に集中していることを示唆する。

医療の質に関しては、全国平均に比べて入院期間が長い症例が多く、特に終末期の療養に関して長期間の入院が多いことが明らかになった。

肺がん患者数（手術なし）



肺がん患者数（手術あり）



【結果③：医療の質と効率】

循環器疾患において、医療の質・効率が優れていることが示されたが、がん、脳血管疾患、骨折等では入院期間が全国平均に比べて長い傾向が見られた。

特に手術を伴わない肺がん・胃がん治療において、入院期間が長く死亡率も高いことが示唆された。

この結果は、急性期病院における終末期療養の多さを示しており、在宅医療との連携の進展が必要である。

心不全

- ・ 冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心臓を使用しないもの）等

	患者数	入院期間	性別（女性）	平均年齢	救急搬送	転院入院	転院退院	在院死亡
兵庫	30	44.2	26.7%	71.2	43.3%	3.3%	6.7%	3.3%
県全域	40	47.3	32.5%	73.1	47.5%	2.5%	12.5%	7.5%
全国	473	48.5	37.4%	69.7	45.9%	6.8%	13.7%	7.2%

脳梗塞

- ・ 手術なし

	患者数	入院期間	性別（女性）	平均年齢	救急搬送	転院入院	転院退院	在院死亡
兵庫	1,589	35.5	42.7%	77.0	45.5%	11.3%	22.5%	4.3%
県全域	12,420	37.7	44.6%	77.7	42.8%	15.2%	26.4%	5.0%
全国	196,196	18.6	42.6%	74.2	51.6%	4.5%	30.2%	4.8%

- ・ 経皮的脳血管形成術等

	患者数	入院期間	性別（女性）	平均年齢	救急搬送	転院入院	転院退院	在院死亡
兵庫	117	39.2	35.0%	77.7	88.0%	3.4%	59.0%	5.1%
県全域	888	34.5	42.3%	78.6	83.2%	5.0%	55.2%	9.9%
全国	15,016	26.7	43.0%	75.4	83.7%	6.0%	56.9%	10.5%

股関節・大腿近位の骨折

- ・ 人工骨頭挿入術 肩、股等

	患者数	入院期間	性別（女性）	平均年齢	救急搬送	転院入院	転院退院	在院死亡
兵庫	894	44.5	76.2%	83.4	60.6%	6.3%	31.3%	2.0%
県全域	8,568	41.8	76.7%	83.9	57.8%	5.8%	43.6%	2.2%
全国	116,631	26.5	76.4%	79.7	62.0%	7.9%	55.7%	1.8%

肺がん

- ・ 手術なし

	患者数	入院期間	性別（女性）	平均年齢	救急搬送	転院入院	転院退院	在院死亡
兵庫	2,546	12.8	28.7%	72.6	4.2%	1.7%	2.2%	8.4%
県全域	9,995	14.5	30.2%	73.5	7.1%	5.4%	4.2%	14.9%
全国	254,168	10.7	30.3%	70.3	4.8%	1.8%	3.0%	6.5%

胃がん

- ・ 手術なし

	患者数	入院期間	性別（女性）	平均年齢	救急搬送	転院入院	転院退院	在院死亡
兵庫	464	11.9	34.3%	71.6	9.5%	5.0%	3.9%	18.3%
県全域	2,729	14.3	33.5%	75.4	10.4%	8.4%	5.4%	23.3%
全国	53,960	8.9	30.4%	70.6	6.8%	3.2%	4.5%	10.3%

【結論】

近畿地方の中規模二次医療圏における DPC データの分析により、地域医療の需要と供給の詳細な把握が可能となり、医療資源の偏在や施設機能の分化の課題が示唆された。特に、がん治療においては、地域間の医療資源の偏在が顕著であり、終末期療養の長期化が課題となっている。これらの課題を解決するためには、病院機能の分化を進め、重症度に応じた入院施設選択を行い、在宅医療との連携を強化することで、地域医療の効率と質の向上が期待される。